

～下記の研究を行います～

『心肺停止蘇生後緊急冠動脈造影検査を行った患者の予 後調査』

【研究責任者】尾崎 立尚

【研究の目的】心肺停止の原因は入院中の諸検査のみでは原因診断にたどり着けない症例も多く存在する。退院後の経過を調査することで、当初は診断しえなかった病名の存在がないかを調査する。

【研究の期間】研究許可日～2022 年 12 月 30 日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2015 年 4 月 1 日から 2017 年 12 月 31 日までに当院に搬送された心肺停止蘇生後患者さまで緊急冠動脈造影を行った方

●研究に用いる試料・情報の種類

試料：無

情報：年齢・性別などの基本情報、入院中診断情報、退院後診断、退院後予後、植え込み型除細動器のイベント記録 等

【研究の資金源】無

【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI (シーオーアイ) : Conflict of Interest) とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反については、当院の利益相反審査委員会で審査され適切に管理されています。

◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

◎情報等が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

国立病院機構大阪医療センター
〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14
TEL (06) 6942-1331 (代)
研究責任者 循環器内科 医師 尾崎立尚